

南海トラフ 巨大地震 に備え 津波避難訓練

令和7年2月8日(土)、大崎町津波避難訓練及び防災講演会が実施されました。

津波避難訓練は、志布志湾大崎町沿岸部全域を対象に、南海トラフ大地震による大規模災害を想定した大崎町地域防災計画に基づく避難対策等を検証するもので、避難経路や避難場所の確認並びに要配慮者の避難対策等の検証・確認をおこなうとともに、各関係機関の活動及び連携を図り、町民の防災意識の高揚と知識の向上を目的として実施されました。

当日は、消防団や消防署、町民の皆さん約450人が参加し、高台への避難ルートや避難時間などを確認しました。菱田地区では、本町防災アドバイザーの井村隆介氏が現地を視察され、「避難時の対応など」住民の方と意見交換をおこないました。

また、津波避難訓練終了後、大崎町中央公民館において、井村隆介氏による防災講演会が開催されました。「南海トラフ大地震と日向灘巨大地震」について講話をされ「まずは自分の命を守ることを徹底してほしい」と訴え、約200人の聴講者が話に聞き入っていました。



災害時に備えて防災リュックを用意しましょう！

防災リュックとは？

災害時に備えて日用品や食料品などを詰めた、非常用の持ち出し用リュックのことを言います。防災セット、防災バッグ、非常袋などとも呼ばれています。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。事前に防災リュックを用意しておくことで、万が一の際にもすぐに避難行動に移ることができま

す。また、避難所では、生活に必要なものが十分に届かない可能性も考えられますので、生活に必要なものを備えておくこと、救援物資が届くまでの間、慣れない避難所での生活も安心できます。

防災リュックを用意するときのポイント

貴重品や常備薬、少量の水、衛生品など、最低限のものだけをに入れておきましょう。あまりにも荷物が多いと、緊急時に避難行動の妨げになってしまふ恐れがあります。

防災リュックは、基本的には家族一人につき一つを用意します。子どものいる家庭では、子ども用の防災リュックも用意しておきましょう。

家庭事情を考慮しながら災害時を想定し、「自分たちはどのような備えが必要なのか」をしっかりと考えて用意しましょう。